

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書2章8～20節＞

神様は救い主の誕生を羊飼いに知らされた。その理由は？

①羊飼い:主の栄光が分かる人々 — 暗い野原で野宿する羊飼い

マタイ福音書では、イエス様の誕生は東方の異邦人の占星術師たちに真っ先に知らされました。ルカ福音書では、夜、「野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた」(8)羊飼いたちでした。共通しているのは、予想外の人たちであり、光に気づきやすい人たちであった点です。「分かっている、資格十分だ」と思っている人ではなく、「心の貧しい人(なにも自分に誇る者を持たないと思っている人)』(マタイ 5:3)に、神様はご自身を先に示して下さるお方なのです。また、熱心に探し求める者(占星術師)、真っ暗な状況の中にある者(羊飼い)に真の光が示されるのです。神様の示され方は不思議なのです(I コリント 1:18 以下)。

②大事な機会を逃さない！ 羊飼いたちはすぐに確認に行った

「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせて下さったその出来事を見ようではないか」(15)。この言葉は大事だと思います。天使が救い主の場所を羊飼いたちに告げると(11)、彼らはすぐに見に行ったのです。他の人を確認に行かせるのでもなく、大事な羊に執着するのでもなく、「これは大事な時、必要なこと」と思い、大事な羊を置いて(誰かに任せて)、天使が告げた内容(10-12)が真実かどうかをすぐに確かめに行き、そして確認したのです(20)。信仰は、信じる対象が本当に信じるに足るものであるかどうかを自分の目で確認することが大事です。私たちの場合はどうしたらいいのでしょうか？

③聖書を学ぶこと！ キリストのことは聖書に記されているから

羊飼いの話を聞いた人々が不思議に思う中で、「しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた」(18)、とあります。神様がなさることが不思議なのは当然です。分からないと言って通り過ぎるのではなく、また、ただ自分の頭で思い巡らすだけでもなく、キリストについて正しく知るために神様が与えて下さった聖書を、これまたそのために神様が用意して下さった教会の礼拝の御言葉の解き明かしを聞く中で、心空しう(心貧しく)して思い巡らしていく中で、神様は必ず光を見えさせて下さるのです。